

## 2011 年度 中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	総合政策学部	身分	准教授
氏名	吉田 紀子		
NAME			

## 1. 研究課題

(和文) アクティヴ・トランスポジション—1880～1890 年代フランスの絵画と広告の領域横断に関する研究—

(英文)

## 2. 研究期間

1 年間

## 3. 研究の概要 (背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 200 字程度)

(和文)

19 世紀後半のフランスでは、世紀前半における産業革命の進行とリトグラフ印刷技法の改良および実用化に伴い、人口の稠密する都市部を中心に広告媒体であるポスターに対する需要がかつてない規模で高まっていた。本研究ではこの時代に先駆的な活躍を見せ、「フランスが生んだ最初の広告デザイナー」と呼ばれるジュール・シェレ (1836～1932) に注目し、「アクティヴ・トランスポジション (能動的・積極的な転置)」を基礎概念として、彼のポスターと同時代の絵画との間で交わされたイメージの相互参照を検証し、異なる視覚文化領域を自在に横断するイメージの流動性を明らかにした。

シェレの広告ポスターと、新印象主義の画家ジョルジュ・スーラ (1859～1891) の油彩画《サーカス》 (1890～91) との造形上の親近性と乖離に関して、セゴレーヌ・ルメンによる先行研究 (Ségolène Le Men, *Seurat & Chéret: Le peintre, le cirque et l'affiche*, Paris, CNRS Editions, 1994) を批判的に読み解きながらその翻訳を完成させた。これと並行して、オルセー美術館資料部、フランス国立図書館、フランス国立美術史研究所、装飾芸術連合において、資料および作品の調査を実施した。これらを踏まえた研究成果を口頭発表という形で公開したが、今後さらに精査を加えて学術論文としてとりまとめる計画である。

(英文)

4. おもな発表論文等（予定を含む）

<p>【学術論文】（著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）</p>
<p>【学会発表】（発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月）</p>
① 吉田紀子、「シェレとスーラ：《サーカス》（1890-91年）に見る広告イメージの再解釈」、 東京大学グローバルCOE「共生のための国際哲学教育研究センター」（UTCP）、東京大学駒場 キャンパス18号館、2012年1月31日。
<p>【図 書】（著者名、出版社名、書名、刊行年）</p>
① セゴレーヌ・ルメン、吉田紀子訳、三元社、『スーラとシェレ：画家、サーカス、ポスター』 （「訳者解説」採録）、2012年夏刊行予定。
<p>【その他】（知的財産権、ニュースリリース等）</p>